県事協だより　No. 154　2026年10月７日

発行：鹿児島県公立小中学校事務職員協議会　編集：県事協理事会

第21次県費事務改善検討委員会が終了しました

夏季休業期間中に3回の検討委員会を開催し、各地区から寄せられた事例等を基に改定作業を進めました。今回は、通勤手当や給与電算等を担当する班を中心に、多くの御苦労があったことと思います。各地区担当の皆様には、御協力いただき誠にありがとうございました。また、9月の常任委員会において全体点検を実施しました。

今後は、その原案について県教育委員会教職員課及び総務福利課に点検を依頼する予定です。さらに、今年度はこの点検期間を活用し、県事協ホームページに掲載している県費事務様式の更新作業も進める予定です。

活動経過及び予定

6月３日　ホームページ更新
7月24日　県費事務改善検討委員会①
8月７日　県費事務改善検討委員会②
8月24日　県費事務改善検討委員会③
9月11日　理事会・常任委員会
10月６日　理事会
11月26日　理事会・第２回評議員会

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

公立学校共済組合からのお知らせ

■被扶養者の資格確認（検認）について

現在、令和８年度の検認を実施していますが、例年、遡って被扶養者資格を取消す事例が多く発生しています。

遡って被扶養者資格が取消しになると、その間診療を受けた医療費等のうち、共済組合負担分及び附加給付等を返納していただくことになります。また、新たに加入する公的保険制度への保険料の納付が必要になるなど、大きな負担となる場合がありますので、日頃から被扶養者の就業・収入状況等の確認を行い、取消要件に該当した場合は、速やかに被扶養者取消申告書を提出してください。

《こんなとき、取消しが必要です！》
・就職先で健康保険に加入したとき。
・収入が年額130万円（公的年金受給者は180万円、19歳～23歳未満の者は150万円）以上あるとき。
・給与月額が不定で、108,334円（公的年金受給者は15万円、19歳～23歳未満の者は12.5万円）以上の収入がある月が３か月連続したとき。
・雇用保険の失業給付を日額3,612円以上受給しているとき。　など

なお、検認の関係書類の提出期限は、令和８年10月30日(金)となっていますので、期限内提出に御協力をお願いします。

２学期も学校生協（福利厚生事務センター）、教育用品をよろしくお願いいたします。

県事協の会員の皆様方には日ごろから大変お世話になっております。組合員名簿の確認調査へのご協力もありがとうございます。学校生協も昨年７月新教育会館へ移転（鹿児島市下竜尾町３番１号）し、職員一同新たな気持ちでとり組んでいます。引続き、学校生協（福利厚生事務センター）、教育用品へのご協力をよろしくお願いします。

今年度からの新しい指定店・提携店のご紹介をします。是非ご利用ください。

○株式会社ドウシシャ：「Monocho Marche」は、ドウシシャが経営するシークレットECモールです。学校生協とパートナー契約しました。まずは登録が必要になります。10月に配布するチラシで確認ください。携帯で買物を！

○K3S企画合同会社：鹿児島市原良に会社があります。パソコンの修理・中古販売をおこなっています。また、パソコン教室も実施しています。パソコンで困っている人は、まず学校生協に連絡ください。

○谷川建設：本社は長崎にあり、鹿児島にも営業所があります。請負住宅・分譲住宅・分譲マンションも扱っている会社です。生協組合員は住宅契約で1.5％～3.0％の割引があります。住宅促進事業に登録ください。

○七呂建設：「お客様それぞれのライフスタイルにマッチした完全自由設計の注文住宅」を扱っております。鹿児島でも多くの場所に宣伝の看板を見かけると思います。生協組合員割引1.5％です。

＊学校生協は、多くの会社等と指定店・提携店契約しています。学校生協HPで確認そしてご利用ください。

○２学期以降の学校生協と教育用品の主な事業についてお知らせします。

９月：グループ共済・きずなの更新・新規等の募集（学校生協）
９月：団体保険「安心家族傷害保険」の募集（学校生協）
10月：厚生担当者会での事業説明（学校生協・教育用品）
11月：団体保険「搭乗者傷害保険」の募集（学校生協）
11月：新年度用品（スクールプランニングノートなど）の募集（教育用品）
11月：退職者説明会



編集後記

現在、各小・中学校では運動会シーズン真っ最中ではないでしょうか。本校では昨年度から運動会を5月に開催しています。実際に5月開催にしてみると、職員にも子どもたちにもおおむね好評です。何といっても一番のメリットは暑さ対策です。今年度は5月18日（日）に実施しましたが、当日もそれほど暑くなく、4月から始まった練習期間中も快適に活動することができました。保護者からも大きな反対意見はなく、スムーズに定着してきているように感じています。

もう一つ、本校では昨年度から6月から9月まで「サマータイム校時表」を導入しています。昼休みを短縮し、休み時間も5分間とすることで、子どもたちは月曜日は14時、それ以外の日は15時に下校します。職員の休憩時間は子どもたちの下校後です。これまではなかなか休憩が取れなかった担任の先生方から、「きちんと休憩が取れるようになった」という声をよく聞きます。働き方改革という点では、効果があった取組の一つだと思います。もちろん、どの学校にも当てはまるわけではありません。近隣の学校ではあまり評判がよくなかったという話も聞きます。学校の規模や地域の実情によって、合う方法は違うのでしょう。

運動会の5月開催もサマータイム校時表も、学校の働き方改革の流れの中で始めた取組です。何かを変えるときには多くの準備や調整が必要で、正直なところ大変でした。しかし、実際にやってみると働きやすさにつながる面も多くありました。

学校も時代に合わせて少しずつ変わっていく必要があります。これからも「子どもたちのために」、そして「職員が元気に働くために」、よりよい方法を考えていきたいと思います。　柳

各地区の事務職員会等の紹介

志布志市小・中学校事務職員会の紹介

大隅地区から

1　志布志市について

志布志市は平成18年1月に松山町、志布志町および有明町の合併により誕生しました。

東部は宮崎県串間市、西部は大崎町、北部は曽於市と境をなし、一部は宮崎県都城市と接する人口約28,000人の市です。薩摩武士の武家屋敷群が拡がる「志布志麓」や国指定文化財の大クスがそびえる「安楽山宮神社」、約２㎞にわたりコスモスが咲き乱れる「コスモスロード」などの歴史や自然を感じられるスポットが多くあります。

また、県内トップクラスの生産量を誇る養殖うなぎや温暖な気候で育てられたお茶、一般的なそばより早く収穫期を迎える「夏そば」をはじめ、海産物、農畜産物にも魅力的な特産品がいっぱいです。

2　市小・中学校事務職員会について

志布志市には小学校16校、中学校5校、義務教育学校1校の計22校が設置されており、事務職員21名が配置されています。このうち義務教育学校は県内初の学びの多様化学校「悠志学園」として今年の４月に開校しました。

市小・中学校事務職員会は事務職員21名で構成されています。市内４つに分かれている事務支援室（志布志地区・有明東地区・有明西地区・松山地区）単位で業務を分担し、役員を中心に研修会を運営しています。支援室ごとに、会務総括や記録等を行う運営チーム、会計や管外研修視察の連絡調整等を行う福利厚生チーム、県費研修チーム、市費研修チームのいずれかを担当し研修を進めていくのが志布志市の特徴です。

研修会は年６回開催され、うち１回は管外研修視察をおこなっています。毎回、市教育委員会の担当者に出席していただき、連絡事項の伝達や事前に集約した質疑等についての回答をいただいています。その後、それぞれの研修主任を中心に市費研修、県費研修となります。研修の方法は様々で、事例を用いた研修、グループ討議や市の出前講座を利用する等しながら、全体での意見交換や情報共有も活発に行われています。



『うな丼』



『夏そば』



『志布志湾』

⭑⭑ 西之表市事務職員会の紹介 ⭑⭑

熊毛地区から

西之表市内小中学校の事務職員は、小学校９名(兼務校１校含む10校)、中学校２名(１校)の計11名で構成されています。
支援室、研修会共に、同じメンバーで、年に支援室は21回、研修会は８回実施しています。

支援室では、諸手当の認定業務をはじめ、給与・旅費事務等の相互点検（訪問点検含む）や、事務支援室だよりの発行等を中心に活動しています。

研修会では、スキルアップ研修とテーマ研修を設定し、スキルアップ研修では1年を通して、全員が輪番でレポート発表を、テーマ研修では、「事務室から始める学校改善」をテーマに、意見や情報の交換をしています。また、年に1回、市教委の方を招いて質疑応答等を行い、共通理解を図っています。

支援室、研修会共に、疑問に思っていることや困っていることを聞くことのできる、良い機会となっています。

⭑⭑ 西之表市の紹介 ⭑⭑

西之表市は種子島北部に位置する市で、サーフィンや釣り、キャンプなどを楽しむ方や、Iターン等で移住をする方が多くみられます。

西之表市内には、日本の水浴場88選に選ばれた浦田海水浴場をはじめとする綺麗な海や、西之表市の東側を一望することができる天女ヶ倉（あまめがくら）、種子島の歴史や自然を実物資料や写真などで紹介している鉄砲館などがあり、８月には、火縄銃を空に向けて発砲するところを見られる鉄砲祭りや、花火を間近で見ることができる西俣花火大会、11月には、種子島特産品の1つである安納芋のフェスティバルが開催され、魅力的な自然や文化がたくさんあります。



『浦田海水浴場』



『天女ヶ倉からの景色』



『西俣花火大会の花火』